

「わたしはいのちのパンです」

1) ストーリーの概略

- ・ 5000人の給食の奇跡 ……しるしと神のわざ
- ・ 人々はイエスを王にしようとしたため、山に退かれた
- ・ 人々はイエスを捜し、追ってきてカペナウムで見つけた

本文

- ・ トンチンカンな問答

- a) 永遠の命に至る食物のために働きなさい →何をすべきでしょうか
- b) 神が遣わした者を信じることです →しるしを見せてください
- c) 父はまことのパンをあたえます →そのパンをください

- ・ わたしがいのちのパンです →失望
- ・ 人々の不信仰

2) 不信仰な人々に対してイエスが求めておられるもの — 2つのポイント

- i) 神が遣わした者を信じること
- ii) わたしがいのちのパンです

3) (説明)

- i) この人々に対して、イエスは「神が遣わした者」を信じなさいと勧めた
ユダヤの民→一神教・唯一絶対の神
神が遣わした者→特別な存在
神を信じるとは、この緊張関係の中で崇めること→知的整合さ以上のこと
人格的な神 — 創世記の神話的な意味
エデンの園・ノアの物語・バベルの塔

- ii) イエスは私のもとに来なさい、私を信じなさいと人々をお招きになった
イエスとともにある永遠のいのち
イエスによって新たに造られた者となる
 - ・ 新しい生き方
 - ・ 新しい人間関係 が可能となる

ある教派の信者の話

私は救われたけれど何も変わっていない。救われただけです。(素顔の再洗礼派)
イエスはいのちのパンです

アーメン

